基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科目名	担当者
薬理学	非常勤講師

年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	授業の種類
１年次・後期	30 時間／１単位／15 回	講義　・　演習

授業の概要と達成目標

＜概要＞

人体への薬物の働きかけや薬物に対する生体側の反応など、薬物治療に関する基礎的知識を学び、薬物治療に重要な看護師の役割を理解する。

＜達成目標＞

１．基本的薬物の薬理作用とその適応・副作用を理解する。

２．薬物の治療効果を高め、安全な与薬管理・服薬指導をするうえでの留意点を理解する。

授業回数	授業内容	教授方法	備考
1	薬物治療の目的、看護師の役割、 薬理作用の基本形式、薬物の作用機序	一斉講義	中村担当
2	薬物の投与経路、薬物の体内動態、 薬物の連用・併用、相互作用	一斉講義	中村担当
3	薬物の副作用、薬物の管理、新薬の開発	一斉講義	中村担当
4	抗感染症薬（抗菌薬）、消毒薬	一斉講義	中村担当
5	免疫治療薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬	一斉講義	中村担当
6	自律神経に作用する薬物、筋弛緩薬、局所麻酔薬	一斉講義	桑島担当
7	全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬	一斉講義	桑島担当
8	抗うつ薬、パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、 麻薬性鎮痛薬	一斉講義	桑島担当
9	抗高血圧薬、狭心症治療薬、うっ血性心不全治療薬、 抗不整脈薬	一斉講義	桑島担当
10	利尿薬、高脂血症治療薬、抗貧血薬、 止血薬と抗凝血薬	一斉講義	桑島担当
11	抗がん薬、血液悪性腫瘍治療薬	一斉講義	桑島担当
12	呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、 漢方薬	一斉講義	桑島担当
13	性ホルモン、子宮収縮薬、生活改善薬、 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬、ビタミン	一斉講義	中村担当
14	皮膚科用薬、眼科外用薬、救急時使用薬	一斉講義	中村担当
15	終講試験		客観テスト 論文体テスト

使用テキスト	評価方法
１．系統看護学講座　専門基礎分野 薬理学　医学書院	１．終講試験（論述・多肢選択試験）